

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 12 月 19 日作成)

小委員会名	クールルーフ適正普及促進小委員会	主 査 名：竹林 英樹 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	委員長名：岩田 利枝 主 査 名：三坂 育正
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒートアイランド適応策の研究事例収集, 普及に向けた議論, 評価方法の検討 ・ 海外の事例収集, 情報交換 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：竹林英樹 (神戸大学) 幹事：三坂育正 (日本工業大学)、橋田祥子 (東京大学) 委員：赤川宏幸 (大林組)、井原智彦 (東京大学)、梅田和彦 (大成建設)、小島倫直 (竹中工務店)、近藤靖史 (東京都市大学)、酒井孝司 (明治大学)、田坂太一 (建材試験センター)、西岡真稔 (大阪市立大学)、長谷川麻子 (熊本大学)、村田泰孝 (崇城大学)、森山正和 (撰南大学)、吉田篤正 (大阪府立大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fi00-12/fi50-15.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. クールルーフ技術の適正な普及に向けた公開研究会－適応策としての性能評価と普及に向けた課題 参加者数 37 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 公開研究会を開催し, 適応策の適切な普及に向けて議論した. 2. ヒートアイランド適応策の研究事例, 評価方法について議論した.
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. ヒートアイランド適応策の適切な普及に向けた継続的な活動が必要である.

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>4年間の委員会活動の総括として、クールルーフ技術の適正な普及に向けた公開研究会を開催し、クールルーフ技術の適応策としての性能評価と普及に向けた課題について議論を行った。</p> <p>具体的には、竹林主査が趣旨説明を行い、ヒートアイランド適応策の性能評価の枠組みを説明した。三坂委員が適応策の導入方針と幾つかの評価事例を紹介した。石丸氏より日射反射膜、播磨氏より再帰反射フィルムの評価事例が紹介された。これらの話題提供に対して、森山委員、吉田委員がコメントした。ディスカッションでは、熱ストレスの緩和と外部空間の環境設計 (WBGT と SET*)、適応策の評価指標と温熱環境指標、適応策の評価条件の整備と適切な普及、などについて会場からの意見を頂きながら議論を行った。まとめとして近藤委員が今後小委員会の取り組むべき課題を整理した。</p> <p>なお、海外事例収集、情報交換としては、竹林主査が7月にイタリア・バーリで開催された International Conference and Workshop Advances in Urban Mitigation Technologies と8月にアメリカ・ニューヨークで開催された 10th International Conference on Urban Climate で適応策の評価方法に関する研究発表を行い、海外の取り組み状況に関する情報を収集し、委員会において共有した。</p> <p>4年間の委員会活動を通して、クールルーフ技術のヒートアイランド適応策としての性能評価の事例収集を行い、集中的に議論することが出来た。今後は公開勉強会で指摘された課題を踏まえ、引き続き暑熱環境適応策の適切な普及に向けた活動を実施する。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。